

平成29年度

## 経済学部第3年次編入学

(学士入学を含む)

# 学生募集要項

出願期間：平成28年9月21日(水)～9月27日(火)

試験期日：平成28年10月7日(金)

合格者発表：平成28年10月18日(火)

平成28年7月

# 目 次

	ページ
大分大学アドミッション・ポリシー .....	1
経済学部アドミッション・ポリシー .....	2
1. 募集人員 .....	5
2. 出願資格 .....	5
3. 編入学時期及び編入学年次 .....	5
4. 出願期間 .....	5
5. 出願に必要な書類等 .....	6
6. 個人情報の取扱い .....	7
7. 障がいのある者等の事前相談 .....	7
8. 熊本地震により被災した者、または熊本地震により転学等をした者の 事前相談 .....	8
9. 東日本大震災により被災した者、または東日本大震災や、福島原子力発電所 事故により転学等をした者の事前相談 .....	8
10. 受験票 .....	8
11. 選抜方法 .....	8
12. 試験の日時等 .....	9
13. 検査場 .....	9
14. 不正行為の取扱い .....	10
15. 合格者発表 .....	11
16. 入学確約書の提出 .....	11
17. 入学手続等 .....	11
18. 卒業（修了）証明書・成績証明書の提出 .....	12
19. その他 .....	12
20. 大分大学学生寮のご案内（予告） .....	13

# 大分大学アドミッション・ポリシー

## 基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

## 教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで、広い視野と深い教養を備え、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち、たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

## 求める学生像

意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち、新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き、能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち、周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

# 経済学部アドミッション・ポリシー

## 教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

## 求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人(たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人)
- ・産業界で活躍することをめざす人(たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人)
- ・公務に携わることをめざす人(たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人)
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人(たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人)
- ・教育や研究に携わることをめざす人(たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人)
- ・国際社会で活躍することをめざす人(たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人)
- ・地域社会で活躍することをめざす人(たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人)

## 《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。

とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

#### 〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

#### 〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

#### 〈地域システム学科〉

地域システム学科では、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

### 入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

#### ・一般入試（前期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5～6教科7～8科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

#### ・一般入試（後期日程）

高等学校等において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は4～5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

#### ・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

#### ・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及

び調査書による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、提出書類も参考にして、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

### 高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力が必要です。

地理歴史、公民：基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心が必要です。

数学：基本的概念や原理・法則を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）が必要です。

理科：基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心が必要です。

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心が必要です。



## 1. 募集人員

経済学部 10名

(注) 所属学科については、入学後、本人の希望を参考にして決定します。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者です。

- (1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者で、出身学校長が責任をもって推薦できる者
  - (2) 大学を卒業し、学士の学位又は称号を有する者及び平成29年3月卒業見込みの者
  - (3) 修業年限4年以上の大学において2年以上在学し（休学期間を除く。）63単位以上を修得した者又は平成29年3月までに在学年数と単位数が上記見込みの者
  - (4) 外国の大学において学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者で、以下の条件を満たしている者
    - ・「日本留学試験」において、「日本語」、「総合科目」、「数学」のすべてを受験し、日本語の「聴解・聴読解」、「読解」の総得点が180点以上であること及び総合科目と数学の得点が合計200点以上であること。
- (注) 1. 「数学」の選択はコース1（文系）  
2. 出題言語は日本語又は英語のどちらを選択してもよい。
- (5) 修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校の専門課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者で、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有し、出身学校長が責任をもって推薦できる者
  - (6) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は平成29年3月修了見込みの者で、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有し、出身学校長が責任をもって推薦できる者

(注) 上記(1)~(6)の見込みにより出願する者は、平成29年3月までに条件を満たさない場合は、合格が取り消されます。

また、(4)により出願しようとする者は、出願資格の有無等の事前協議を行うので、9月2日（金）までに、入試課まで申し出てください。

## 3. 編入学時期及び編入学年次

平成29年4月に、3年次に編入学します。

## 4. 出願期間

**平成28年9月21日（水）から平成28年9月27日（火）17時まで（必着）**


出願は郵送のみとします。その際は必ず、本要項に添付されている封筒を用い、速達書留で郵送してください。

ただし、9月27日（火）に限り持参を認めます。（受付時間は9時から17時まで）

**【注】** 出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情を十分考慮して早めに発送してください。

## 5. 出願に必要な書類等

### (1) 出願書類等

書 類 等	内 容 等
入 学 志 願 書	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、所定の箇所に写真(縦4cm×横3cm, 上半身, 無帽, 正面向きで本人であると確認できるもの)を貼ってください。</p> <p>※写真裏面には、氏名を記入してください。</p>
受 験 票	
推 薦 書	<p>本学所定の用紙により出身学校長が作成し、厳封したものです。</p> <p>(出願資格の(1), (5)及び(6)に該当する者のみ。)</p>
卒業・修了(見込)証明書	<p>最終出身(在学)校が作成したものです。</p> <p>(出願資格の(1), (2), (4)及び(6)に該当する者のみ。)</p>
専修学校の専門課程修了(見込)証明書	<p>本学所定の用紙により出身学校長が作成したものです。</p> <p>(出願資格の(5)に該当する者のみ。)</p>
在 学 証 明 書	<p>修業年限4年以上の大学において、2年次以上に在学すること又は2年次以上に在学していたことを証明するもので、最終出身(在学)校が作成したものです。</p> <p>(出願資格の(3)に該当する者のみ。)</p>
成 績 証 明 書	<p>最終出身(在学)校が作成し、厳封したものです。</p>
現在履修中及び履修予定の単位数を明記した授業科目一覧表	<p>様式は問いません。</p> <p>(出願資格の(3)に該当する者で、現に在学中の者のみ。)</p>
志 望 理 由 書	<p>本学所定の用紙を使用してください。</p>
入学検定料振替払込受付証明書等 (30,000円)	<p>以下のいずれかの方法により、本学指定口座に振込んでください。</p> <p>① <b>金融機関(郵便局を含む)での振込</b>  <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口で振込手続を行ってください(ATM不可)。</b></p> <p>② <b>コンビニエンスストアでの振込</b>          本学ホームページ(<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>)から振込専用ホームページ( <a href="#">上部メニュー</a> → <a href="#">入試情報</a> → <a href="#">入学検定料のコンビニ収納</a> )へアクセスするか、直接下記URLにアクセスし、指示に従い振込手続を行ってください。  <b>【振込専用URL】</b> <a href="https://www.oita-u.net/">https://www.oita-u.net/</a>  <b>【携帯電話用URL】</b> <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a>          ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p>  <p>振込後は、①の場合は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を、②の場合は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票下の貼付欄にはがれないようのり付けしてください。          ※手数料は本人負担です。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。          (ア) 入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合(返還額:30,000円)          (イ) 入学検定料を誤って二重に振込んだ場合(返還額:30,000円)          ※(ア)又は(イ)に該当する場合は、7ページ「(4)入学検定料の返還請求」を参照してください。</p>
住 所 シ ー ル	<p>本要項に添付している住所シールに志願者の郵便番号、住所(合格通知を受け取る場所)、氏名を記入してください。出願資格の(1)及び(5)に該当する者で、卒業(修了)予定の場合は、①に出身学校の郵便番号、住所、学校名等も併せて記入してください。</p>
受験票返信用封筒	<p>本学所定の封筒に、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、<b>362円分の切手を貼ってください。</b></p>



(2) 出願に際しての注意事項

- (ア) 出願書類等に不備があるものは受付できません。
- (イ) 出願後は、出願書類等の記載内容の変更はできません。
- (ウ) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (エ) 出願書類等は受付後は返却できません。
- (オ) 改姓等により、現在の氏名と各提出書類の氏名が相違する場合は、戸籍抄本等の改姓の事実が確認できる書類を提出してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

(4) 入学検定料の返還請求

入学検定料を振込んだが、出願しなかった場合又は入学検定料を誤って二重に振込んだ場合は、出願期間終了後ただちに、次の①～④を明記した「入学検定料返還請求願」(A4サイズ、様式任意)を作成し、「振替払込受付証明書(大学提出用)」又は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を添付し、封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書きし、次の請求先に郵送してください。「入学検定料返還請求願」を受領後、返還に必要な書類を送付します。

・入学検定料返還請求願に記載する事項

①氏名(フリガナ)、②郵便番号及び住所、③連絡先電話番号、④返還請求理由

・請求期限：平成28年10月31日(月)

・請求先：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

## 6. 個人情報の取扱い

志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシー」に基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した場合には、その選考資料として利用します。

## 7. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年9月2日(金)17時までに申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になったときには、その時点ですみやかに申し出てください。

(2) 申出方法

申請書(診断書等必要書類添付)を提出してください。必要な場合は、本学において、志願者本人又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行います。なお、申請書は申し出のあった方に郵送等でお渡しします。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

**8. 熊本地震により被災した者、または熊本地震により転学等をした者の事前相談**

熊本地震により被災した入学志願者、または熊本地震により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年9月2日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、熊本地震への対応に関する情報については、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp>）に詳細を掲載しています。

**9. 東日本大震災により被災した者、または東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした者の事前相談**

東日本大震災により被災した入学志願者、または東日本大震災や福島原子力発電所事故により転学等をした入学志願者で、本学の受験に際し特別な措置が必要な者及び修学上特別な配慮が必要な者は、次の要領で申し出てください。

(1) 申出期限

平成28年9月2日（金）17時までに申し出てください。

(2) 申出方法

志願者本人またはその立場を代弁しうる関係者等から、直接または電話により申し出てください。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課 TEL 097-554-7471

なお、東日本大震災への対応に関する情報については、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp>）に詳細を掲載しています。

**10. 受験票**

受験票は、出願書類受理後、本人へ郵送により送付します。

**11. 選抜方法**

入学者の選抜は、英語、小論文、提出書類を総合して選考します。科目等と配点は次のとおりです。

科目等	内 容	配 点
外国語	英 語	100点
小論文	社会科学に関する問題	100点
提出書類	志望理由書等	40点

※提出書類では、短期大学等での勉学を含む各種活動や本学入学後の勉学意欲等についてみます（志望理由書は内容とその表現の両方を評価します）。

※「外国語」と「小論文」のいずれか1科目でも受験しなかった場合は、不合格となります。

## 12. 試験の日時等

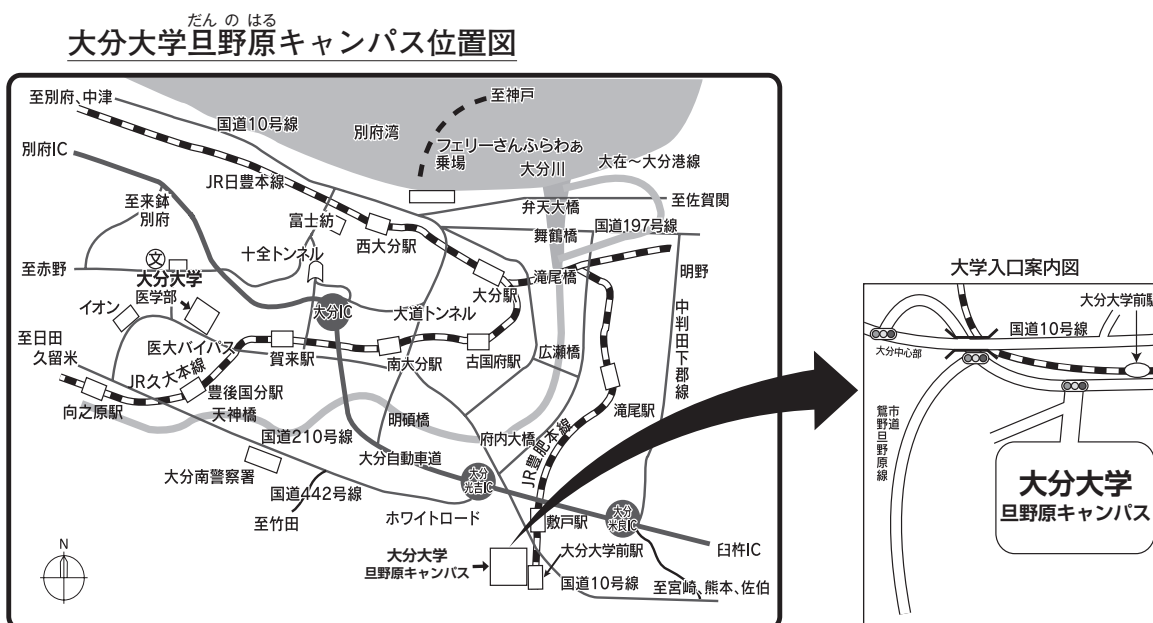
試験当日は、午前9時30分までに経済学部棟玄関前に集合してください。

試 験 日 時	科目等	試 験 会 場
平成28年10月7日(金)	10時～11時40分	経済学部
	13時～14時30分	

※遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

## 13. 検査場

- ・大分大学旦野原キャンパス（大分市大字旦野原700番地）
- ・検査当日、自動車等で来学する場合は係員の指示に従ってください。



### ●交通アクセス

〈JR利用〉

JR豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約12分）、徒歩約10分

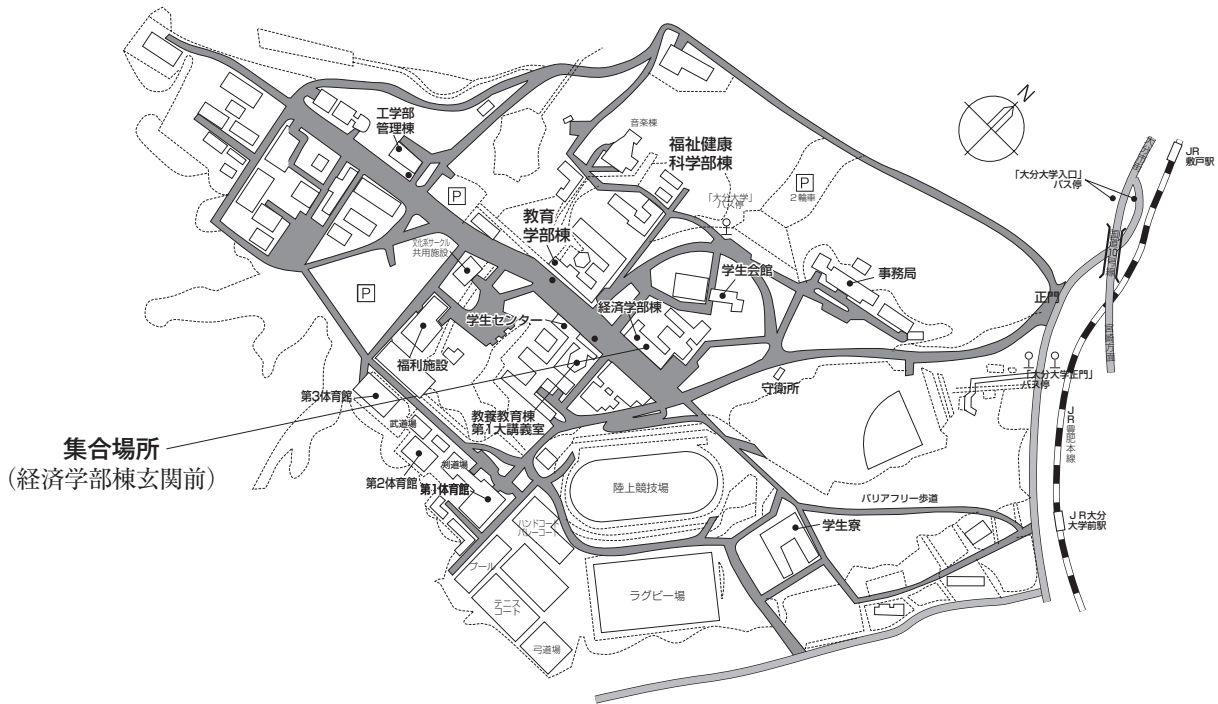
〈バス利用〉

大分バス 中央通り〔トキハ前1番のりば〕又はJR大分駅府内中央口（北口）〔大分駅前3番または4番のりば〕から

○「大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）、「大分大学」又は「大分大学正門」下車、徒歩10分

○「戸次、白杵、佐伯」行きを利用（約40分）、「大分大学入口」下車、徒歩約10分（詳細は時刻表で確認してください。）

だんのはる  
大分大学旦野原キャンパス案内図



#### 14. 不正行為の取扱い

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
- (ア) 入学志願書、受験票又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願書に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）をすること。
  - (イ) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
  - (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - (エ) 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
  - (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - (カ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - (キ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
  - (ク) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
  - (ケ) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- (ア) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 15. 合格者発表

合格者は、次のとおり大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者本人宛に「合格通知」を送付（同時刻に発送）します。また、出願資格(1)、(5)及び(6)で卒業（修了）見込みの場合については、出身学校長にも文書により志願者の合否を通知します。

※これら以外の合否通知等については、本学は責任を負いません。

合格発表日時	平成28年10月18日（火）10時
--------	-------------------

## 16. 入学確約書の提出

入学試験による選考の結果、合格通知を受けた者は、保証人及び本人が連署した入学確約書を平成28年11月2日（水）までに、提出してください。期日までに入学確約書の提出がない場合は、入学を辞退したものとして取扱います。

## 17. 入学手続等

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

### (1) 入学手続期間

平成28年11月18日（金）～24日（木）17時まで（必着）
--------------------------------

※入学手続は郵送のみとします。

なお、期間中に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取扱います。

### (2) 入学料及び授業料

① 入学料 282,000円

② 授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

【注1】 入学料及び授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは、入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）へお問い合わせください。

【注2】 入学料・授業料は改定されることがあります。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

【注3】 既納の入学料は返還できません。

【注4】 入学料免除・徴収猶予を申請される方は、入学料を払い込まずに申請書類を提出してください。ただし、入学手続き完了後に入学を辞退した場合は、直ちに入学料を納付しなければなりません。



## 18. 卒業（修了）証明書・成績証明書の提出

出願時に「卒業（修了）見込証明書」又は「現在履修中及び履修予定の単位数を明記した授業科目一覧表」を提出した者は、卒業（修了）証明書及び最終の成績証明書が入手でき次第、すみやかに経済学部学務係へ提出してください。

## 19. その他

本学生募集要項に明記されている期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7471）です。また、特別な場合を除き追試験等は実施しません。

## 20. 大分大学学生寮のご案内（予告）

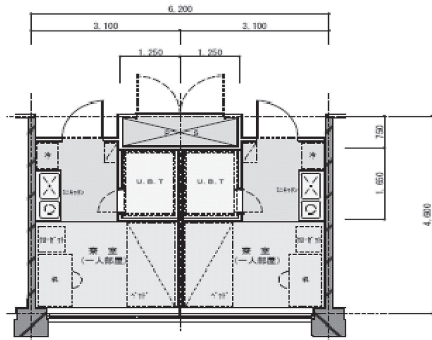
前期日程・後期日程及びAO（医学）、特別入試等を受験の方は、入学試験前のお申し込みとなりますのでご注意ください。  
予告内容は変更になる場合があります。正式には「学生寮入寮者募集要項」（平成28年12月上旬公表）でご確認ください。

学生の居住施設として、且野原キャンパス内に学生寮を設置しています。

医学部のある挾間キャンパスまでは、約10kmの距離ですが、バスや電車利用の場合、乗り継ぎのため90分程度を要します。

入寮者の選考は、経済的事由及び地理的事由（通学に要する時間が90分以上）を考慮して行います。

### ＜学生寮の概要＞



（上図は2部屋を示します。）

対象学生	収容人員	居室		建物構造
		部屋数	定員	
男子・女子・留学生	290名	290室	1名	鉄筋5階建

（身体等に障がいのある学生専用の居室、男女各1室を含む。）

■男女混住タイプ（男子・女子・留学生ゾーンによるエリア区分）

■居室の形態 単身用個室タイプ（約12㎡）

ベッド（マットなし）、机・椅子、クローゼット、エアコン、UTB（ユニットバス・トイレ）、ミニキッチン（IH）、インターネット配線・TV配線付線付

### ＜必要経費＞

寄宿料	維持管理費 （共益費）	インターネット使用料 （全員加入）	維持管理一時金 （退去時原形復旧費）
20,000円/月	2,000円/月	2,000円/月	40,000円/入居時

・光熱水費（電気・水道）は自己負担となります。（ガスは使用しません。）

### ＜募集人員等＞

■募集人員：140人程度（大学院入学生を含む。）

■入寮許可：2年間（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

### ＜選考区分等＞

区分	選考Ⅰ	選考Ⅱ
選考対象	AO入試・編入学試験・社会人入試・推薦入試・特別入試・一般入試（前期日程）の合格者	一般入試（後期日程）の合格者
申込期間	平成29年1月23日～2月7日	
結果通知	平成29年3月10日	平成29年3月24日

■試験種別によっては、入学試験前の申込となりますのでご注意ください。

■大学院入学生については、選考Ⅱにより選考します。

### ＜入寮者募集要項の入手方法＞（募集要項公表：平成28年12月上旬）

#### 冊子版をご希望の方

請求先 大分大学学生支援課 〒870-1192 大分市大字且野原700番地（TEL097-554-7443）

請求方法 担当課窓口でのお受取り又は郵便での請求ができます。

返信用封筒（角形2号、郵便番号、住所及び氏名を明記し、140円切手を貼付したもの）を同封の上、

請求する封筒の表に「入寮者募集要項請求」と朱書してください。

#### デジタル版をご希望の方

大分大学公式ホームページからダウンロードしてください。（ホームページ → 学生生活 → 学生寮・アパート）

## 入学試験に関する問い合わせ先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-7471

FAX 097-554-7472

URL <http://www/oita-u.ac.jp/>